証券コード：5401

NIPPON STEEL

当社の概要と U. S. Steelについて

2026年10月8日

日本製鉄株式会社
コーポレートコミュニケーション部IR室
宮原 公彦

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

ご説明内容

1．鉄の基本と鉄鋼需要

2．日本製鉄について

3．2026年度業績見通し

4．U. S. Steelについて

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

豊富な資源と安価なコスト

地球の重量の1/3は鉄



可採埋蔵量（億ｔ）

ﾎﾞｰｷｻｲﾄ	銅	亜鉛	ﾆｯｹﾙ	鉛
310	8.9	2.1	1.0	0.8

出典: USGS Mineral Commodity Summaries 2023

何度でも再生利用できる無限リサイクル



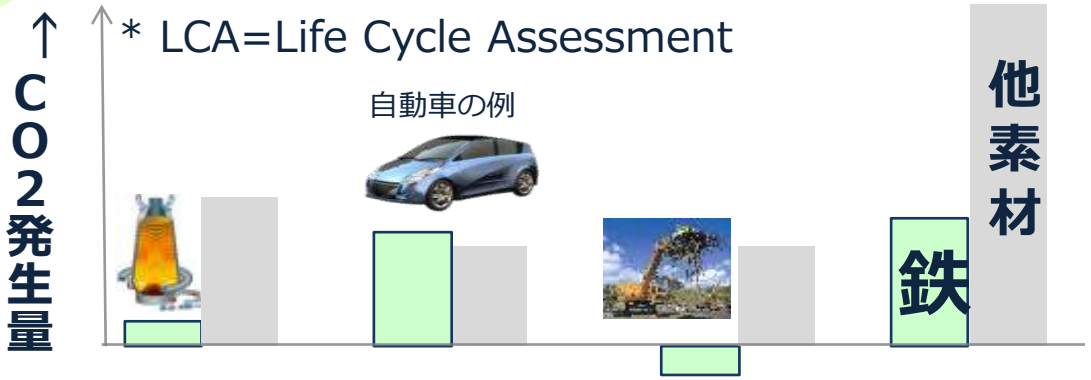
鉄は素材の主役

鉄の多様な特性と無限の可能性





ライフサイクルでの環境負荷の低さ

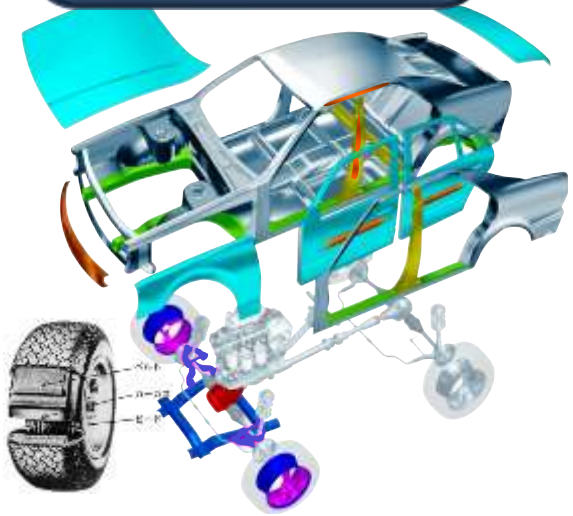


製造時＋使用時＋リサイクル＝LCA

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

鉄の幅広い用途　～鉄は素材の主役

自動車



家電



容器



船舶



建設機械



建築



橋梁



土木



プラント



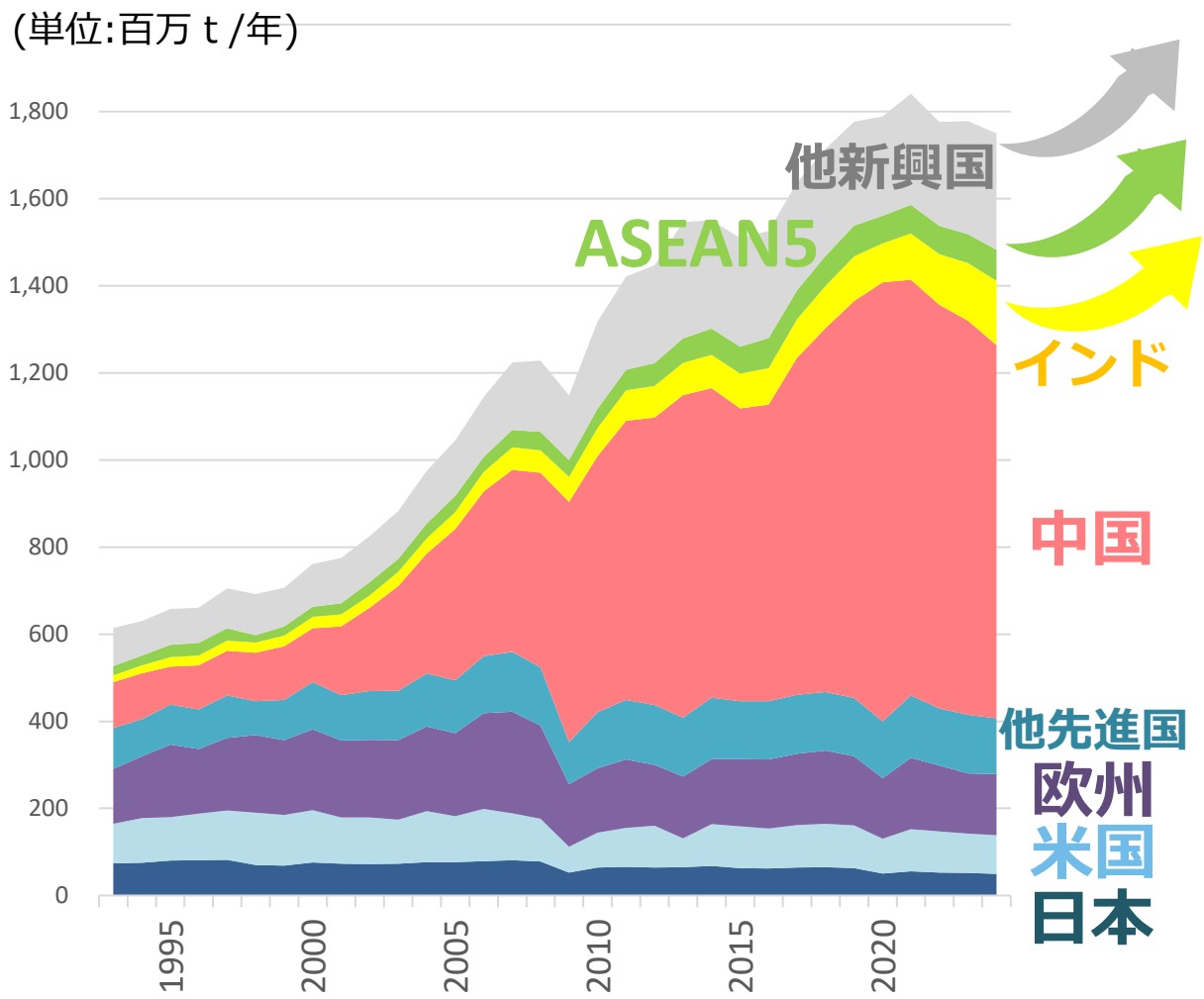
エネルギー



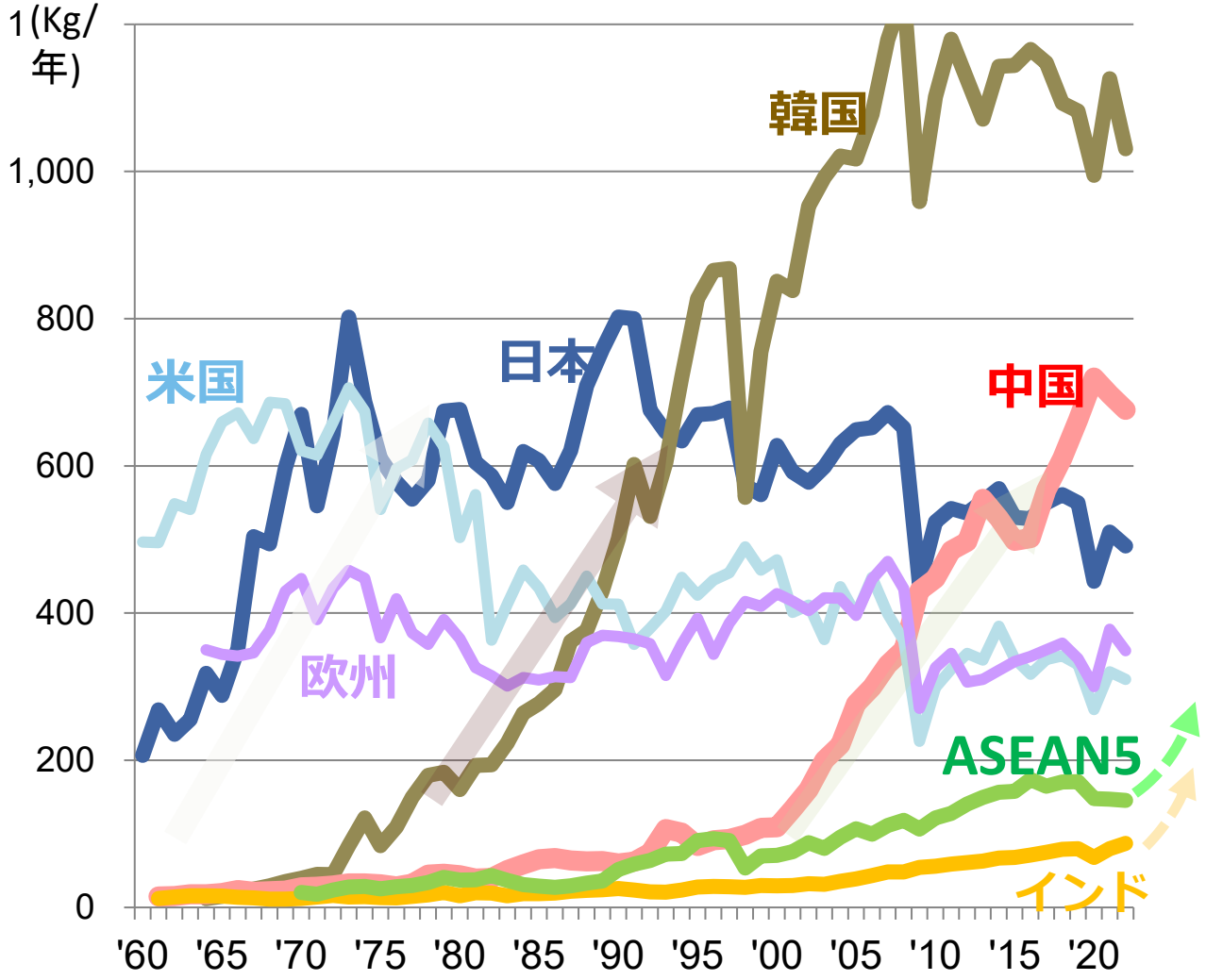
© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

世界の鋼材需要は足下一時停滞するも、長期的には新興国を中心に増加見込み

鋼材需要推移



（参考）１人あたり鋼材需要



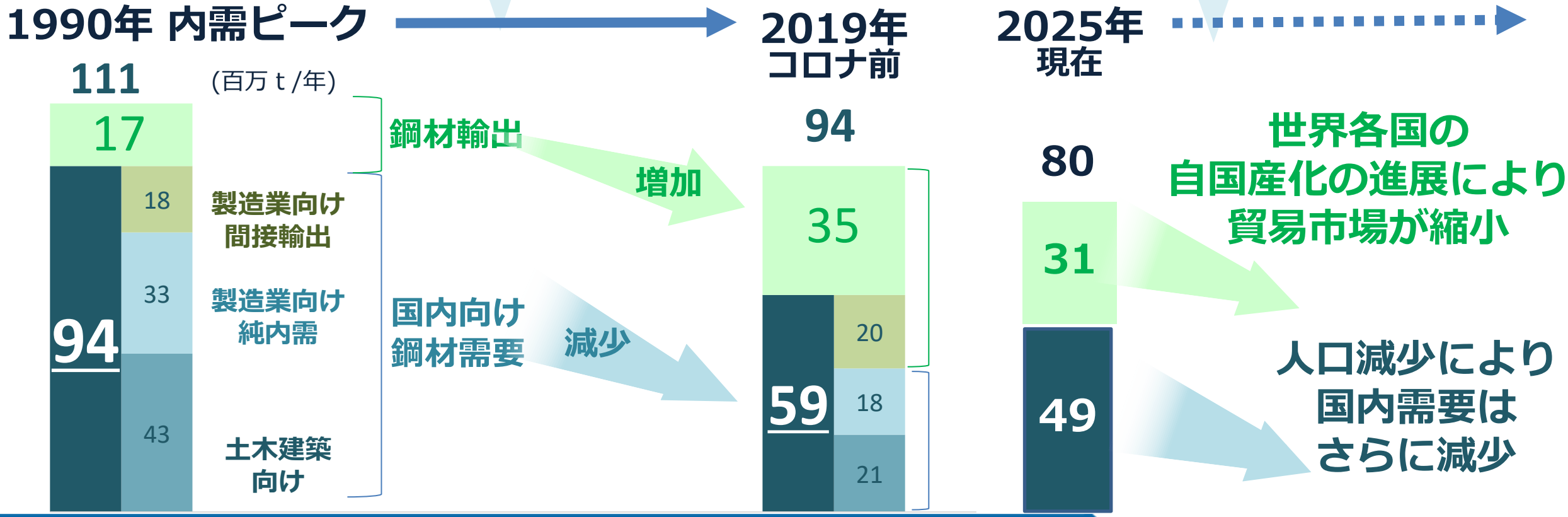
© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

国内鋼材生産の規模と向け先の変化

国内需要減少を輸出拡大で
カバーし
国内生産減をリカバリー

今後国内需要は更に減少、輸出は困難化

輸出の拡大で国内生産規模を維持するという
現状のビジネスモデルを維持することは困難



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

ご説明内容

1．鉄の基本と鉄鋼需要

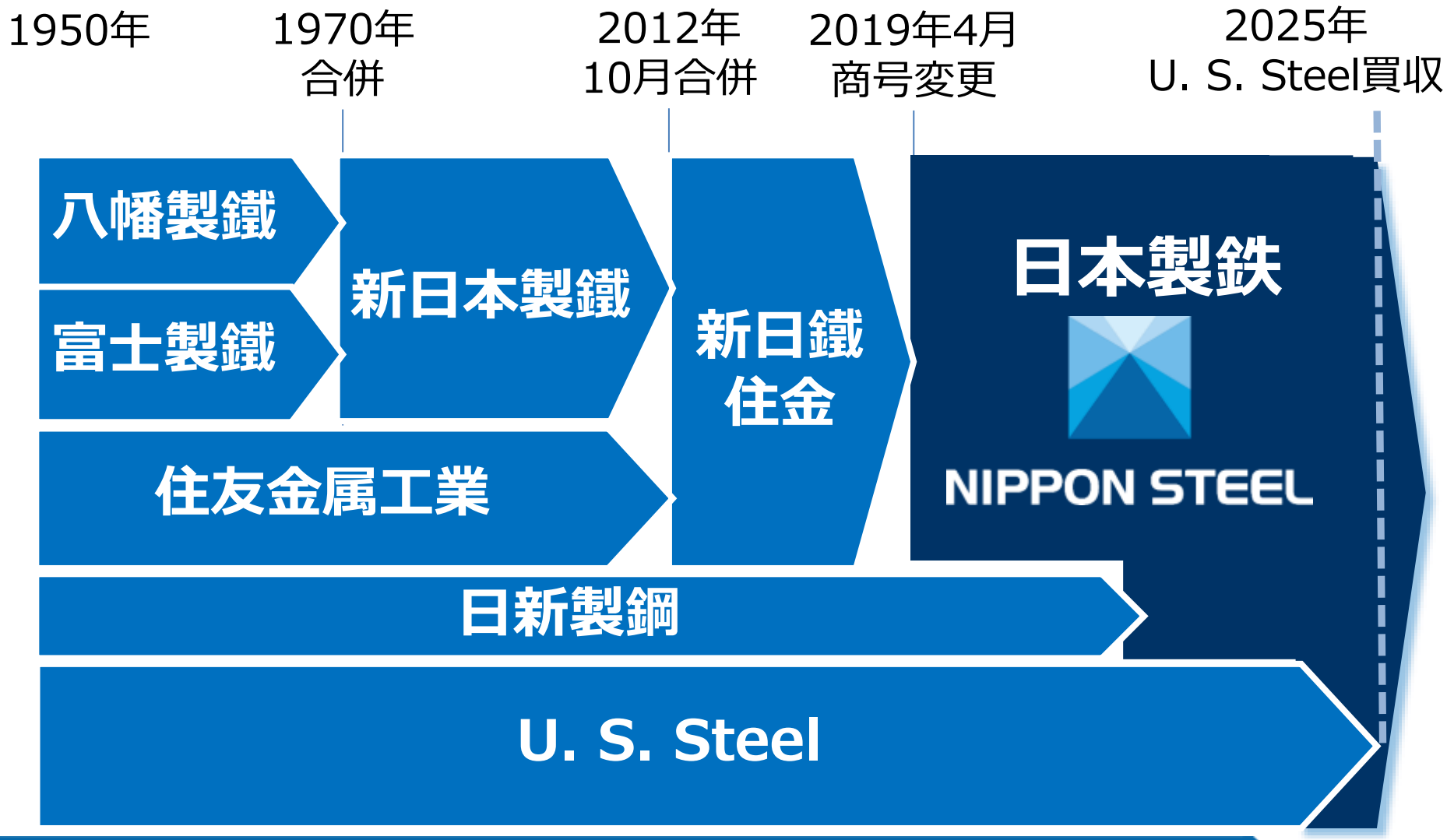
2．日本製鉄について

3．2026年度業績見通し

4．U. S. Steelについて

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

日本製鉄の沿革

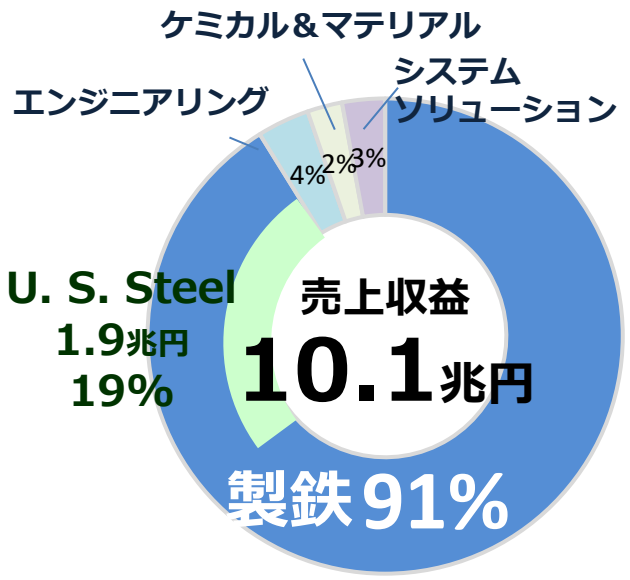


© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

売上・粗鋼生産・従業員数

当社売上収益構成

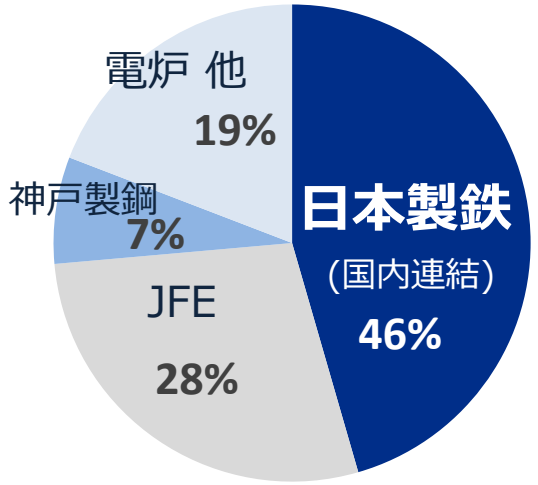
（2025年度）



セグメント別売上高は外部顧客向け売上高

国内粗鋼生産シェア

（2025年度）



世界粗鋼生産ランキング

（2025年）



出典：worldsteel
親会社生産量＋子会社生産量
＋30%以上出資の持分法適用会社の持分相当生産量

従業員数

2026年3月末時点　**138,453人**

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

国内製造拠点 ～ 7製鉄所13地区体制

高炉
電炉

日鉄ステンレスの吸収合併、国内電縫管事業再編に伴い
最適な国内製造拠点の構築に向け、製鉄所組織を再編

北日本製鉄所
- 室蘭地区
- 釜石地区

東日本製鉄所
- 直江津地区
- 鹿島地区
- 君津地区

瀬戸内製鉄所
- 広畑地区
- 阪神地区（東予）
- 阪神地区（堺、神崎）

山口製鉄所
- （周南）
- （光） 1基休止中

九州製鉄所
- 八幡地区
- 大分地区

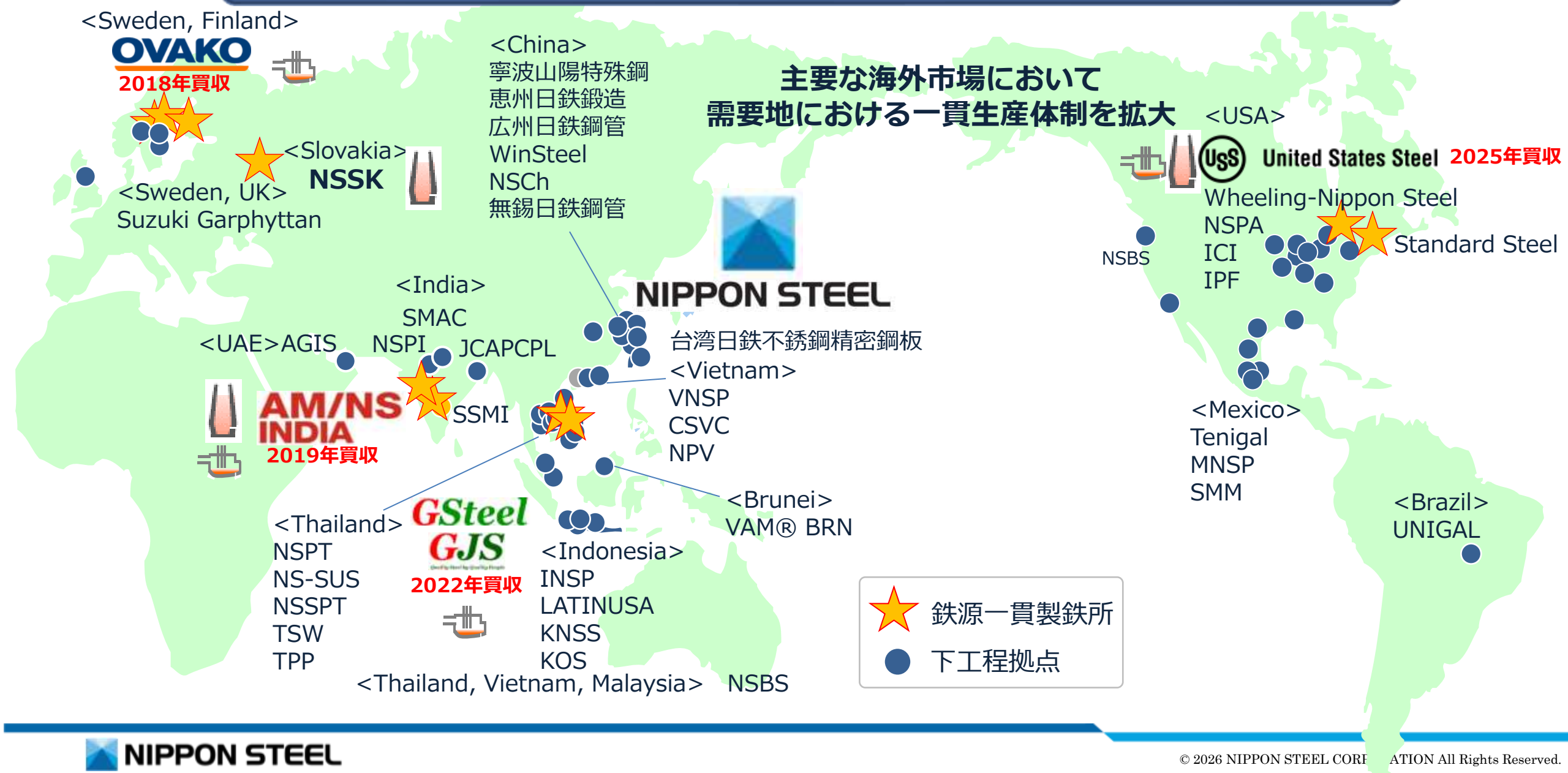
関西製鉄所
- 和歌山地区
- 大阪地区

名古屋製鉄所



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製造拠点　15ケ国以上・約50社



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

ご説明内容

1．鉄の基本と鉄鋼需要

2．日本製鉄について

3．2026年度業績見通し

4．U. S. Steelについて

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

2026年度業績見通し

2025年度はU. S. Steel買収等に伴う一過的な損失あり。
2026年度は、中東情勢の影響（-600億円）等もあるなか、実力ベースでも増益を見込む。

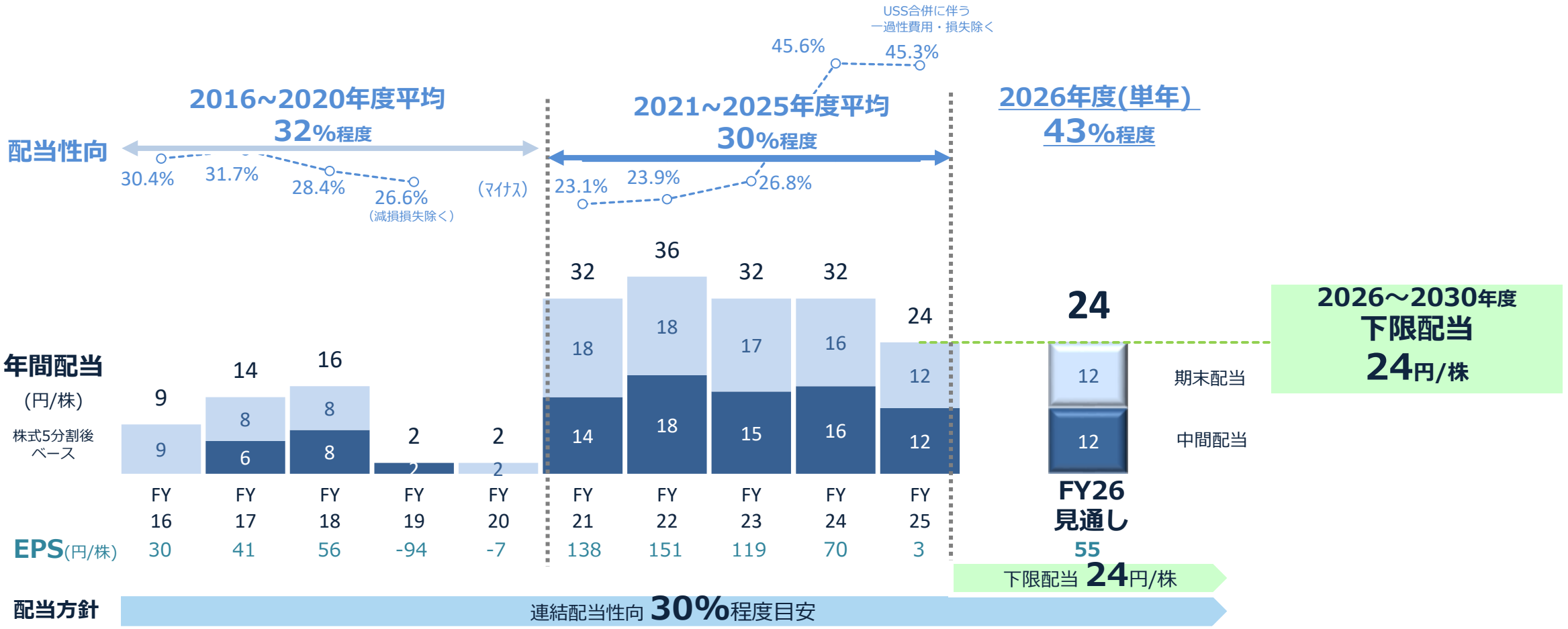
(億円/年)	2025年度 実績		2026年度 見通し
在庫評価差等除き **実力損益**	**6,504**	+496	**7,000 以上**
うちU. S. Steel	▲56	+1,856	1,800 以上
在庫評価差等	▲1,363	+663	▲700
連結事業利益	**5,141**	+1,159	**6,300**
個別開示項目	**▲2,712**	+2,412	**▲300**
当期利益（税後）	**171**	+2,729	**2,900**

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

2026年度　配当見通し

◆ **2030中長期経営計画（2026～2030年度）**
：従前の配当方針（配当性向30%程度目安）を継続しつつ **下限配当（24円/株）を導入**

◆ **2026年度の配当**
： 現時点では上記下限配当等も踏まえ、**1株につき24円**を予定



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

ご説明内容

１．鉄の基本と鉄鋼需要

２．日本製鉄について

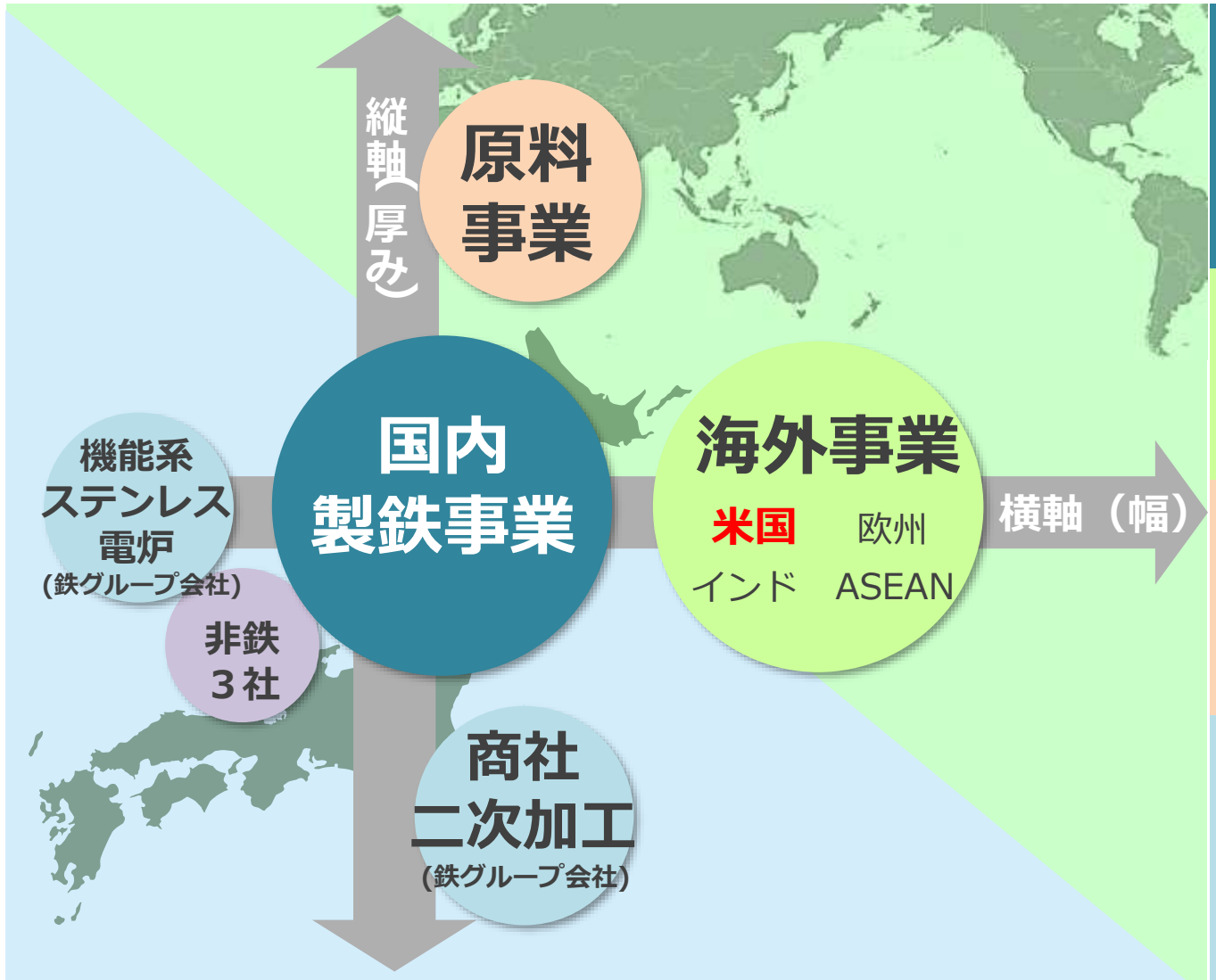
３．2026年度業績見通し

４．U. S. Steelについて

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

経営戦略

「幅」と「厚み」をもった強靭な事業構造への進化



戦略（１）
国内製鉄事業の再構築

戦略（２）
海外事業の深化・拡充

戦略（３）
原料「調達」から「事業」へ

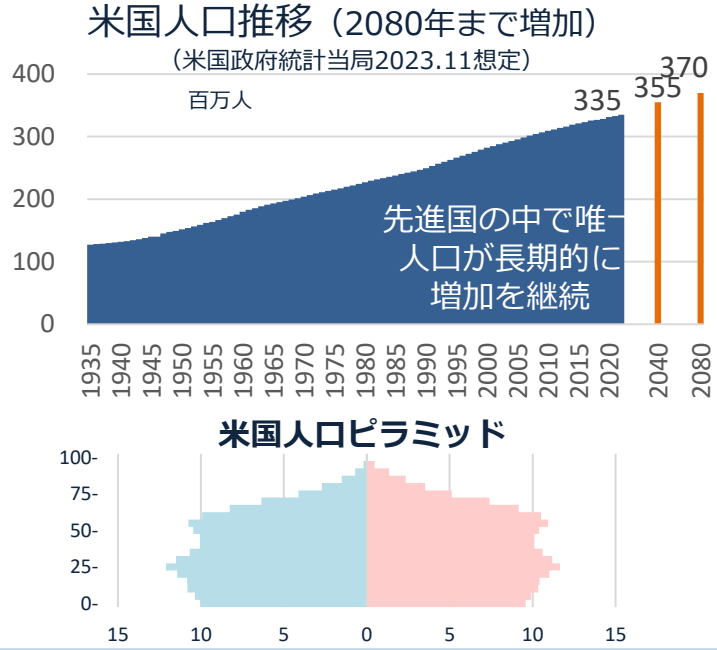
戦略（４）
流通も自らの事業領域へ

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

USS魅力① 拡大する米国高級鋼需要

米国市場の魅力

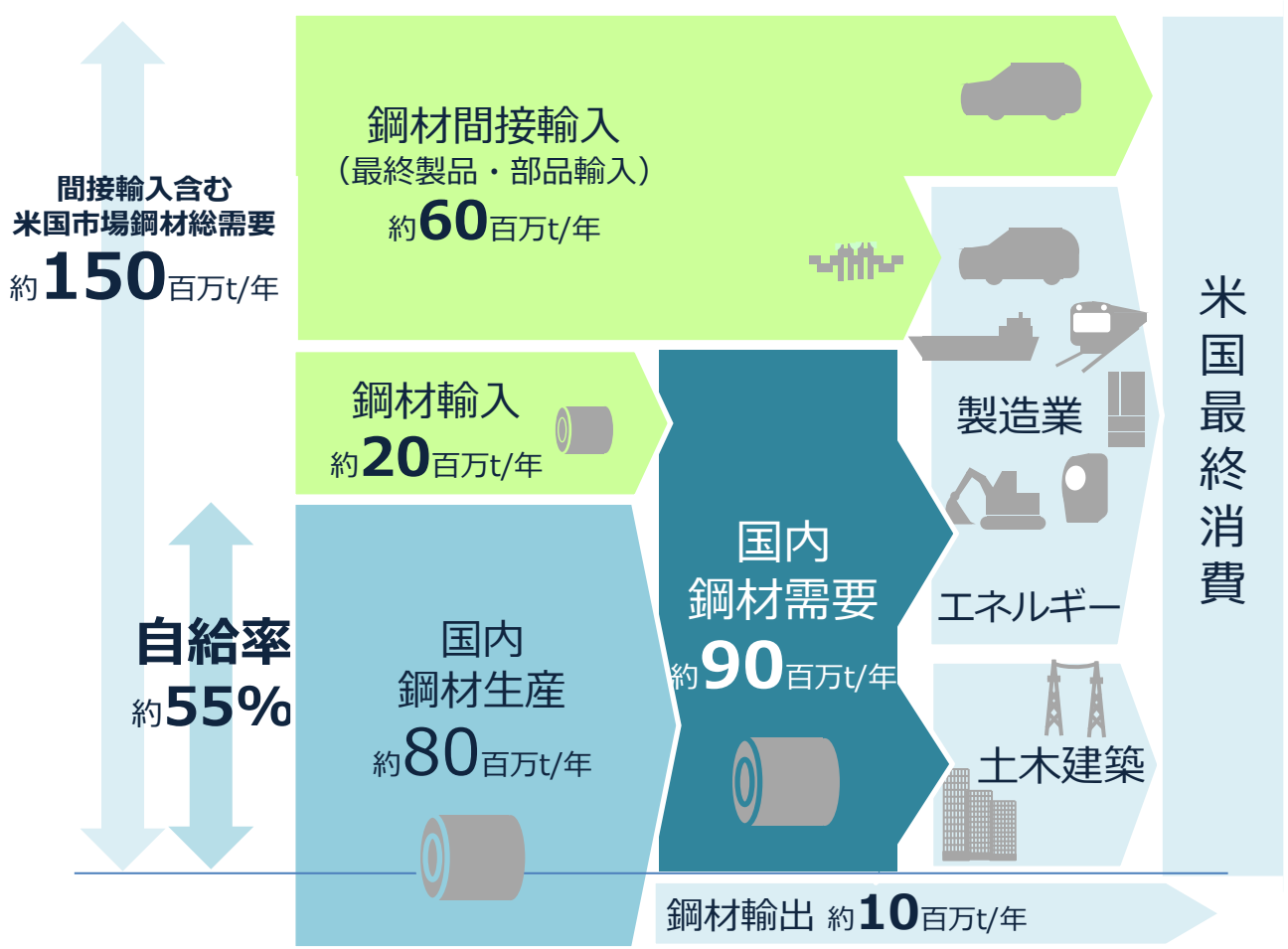
- ◆先進国で最大の鉄鋼需要 かつ高級鋼需要の伸びが期待される
  ⇒当社の技術力・商品力が活きる市場
- ◆輸出に依存しない内需中心の需給構造
- ◆関税によって輸入材から守られた市場



間接輸入を含めた需要規模：1.5億トン

関税政策による鋼材の直接・間接輸入の国内生産への転換が想定

米国鋼材需給イメージ（当社推定）

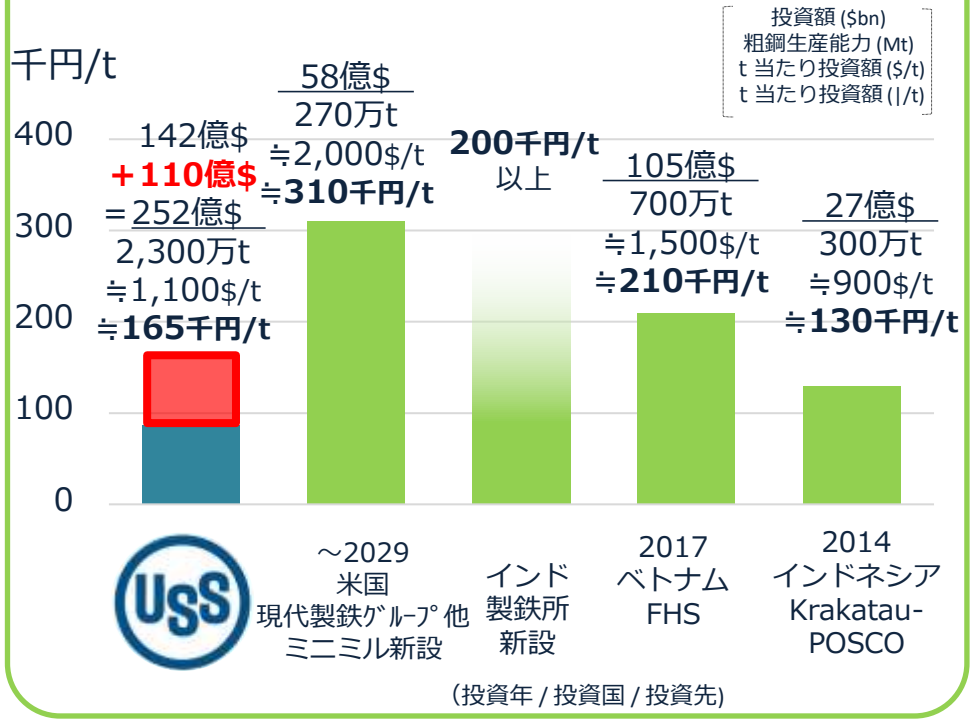


© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

USS魅力② 新製鉄所建設よりもU. S. Steelを買収したほうがメリットあり

追加設備投資を含めても競争力ある取得価額

粗鋼生産能力あたり投資額
（U. S. Steelは追加設備投資込み）



新規建設のリスク

- 一から建設することによるリスク
- 労働者、技術者の新規雇用リスク（そもそも不可能？）

（参考） 日米労働力 人口比較

	総人口（百万人）	労働力人口	ｳﾁ製造業	（比率）
米国	342	172	13	8%
日本	124	69	11	15%

- 新規の顧客獲得リスク
- 鉄鋼市場緩和リスク
- 時間がかかるリスク 等

【追加設備投資約110億ドルについて】

① ベースの製造実力（品質・生産性）の向上 → コスト低減

② 供給製品メニューの拡充（電磁鋼板等） → 製品高度化

③ 供給能力の拡大

U. S. Steelの競争力の抜本的強化・利益成長を実現
（十分な投資採算性を確保）
投資採算性判断はトランプ政権関税政策以前

【約110億ドルの設備投資概要】
◆高炉製鉄所（ゲーリー、モンバレー）
・モンバレー熱延設備新設
・ゲーリー14高炉改修 など
◆電炉一貫製鉄所（Big River Steel）
・直接還元鉄（DRI）製造設備新設
・電磁鋼板ライン強化
◆研究所新設、ペレットプラント増設 など

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

USS魅力③

（まとめ）U. S. Steel買収は当社の成長戦略に合致

中長期的事業環境

中国
需給ギャップを起点とする鋼材マージンの長期低迷

日本国内の鉄鋼需要は漸減
人口減
直接・間接輸出の困難化

当社の成長戦略

需要の伸びが確実に期待できる地域

当社の技術力・商品力を活かせる分野

における
海外製造拠点の拡充

上工程から一貫して付加価値を創造できる
鉄源一貫製鉄拠点

M&Aによる
ブラウンフィールドの拠点取得

米国市場の魅力

高水準の米国内鉄鋼需要

- 先進国の中で唯一**人口が長期的に増加**を継続
- 安価なエネルギー、世界経済の構造変化を背景に、**エネルギー、製造業等の鋼材需要分野における米国内回帰の動き**
- 今後のインフラ投資増に伴う財政支出による**鉄鋼需要増加**

高級鋼需要の伸びが期待される市場

輸出に依存しない内需中心の需給構造

関税によって輸入材から守られた市場

U. S. Steelの魅力

鉄鉱石鉱山・高炉・電炉を有機的に組み合わせた強力な設備構成

米国内の幅広い顧客基盤
歴史に裏付けられたブランド価値

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

USS魅力（参考）

米国政府の権利は、当社の成長のための戦略と矛盾せず 当社経営の自由度は確保

	国家安全保障協定（NSA)の主なコミットメント	黄金株により米国政府に与えた主な権利
ガバナンス	◆取締役会の過半数は米国籍 ◆経営陣の中枢メンバーは米国籍	◆独立取締役１名を選任
設備投資	◆2028年末までに約110億＄を投資	米国政府の同意が必要 ◆NSAでコミットされた設備投資の削減
社名・本社	◆本店所在地を維持	◆会社名・本店所在地の変更 ◆法人登記の米国外移転
米国内設備・生産	◆米国内の生産・能力を維持	◆生産・雇用の米国外移転 ◆米国既存製造拠点の閉鎖・休止（通常操業における暫定休止を除く）
その他	◆U. S. Steelの通商措置に妨害・禁止・干渉しない	◆米国内競合事業の重要な買収、米国外からの調達、通商、労働に関する一定事項

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

USS魅力④

U. S. Steelのその他の魅力

◆最先端の電炉拠点 ～ Big River Steel（アーカンソー州）

Big River Steel



電炉　2基（330万st/年）
RH脱ガス設備　１基
CSP（薄スラブ連続鋳造・圧延機(バッチ型))1基
めっきライン　2ライン（52.5万st/年　＋ 32.5万st/年）
無方向性電磁鋼板ライン　1ライン（20.0万st/年）
塗装ライン　　1ライン（16.5万st/年）

Big River 2



電炉　2基（能力　300万st/年）
ESP（薄スラブ連続鋳造・圧延機(エンドレス型))1基
めっきライン　2ライン（能力　100万st/年）
（2024年下期稼働開始。2026年フル立ち上げ）

◆鉄鉱石鉱山の保有 ～ Minntac鉱山・Keetac鉱山（ミネソタ州）

Minntac・Keetac鉱山で 高炉使用鉄鉱石を100%自給

・露天掘りの高いコスト競争力
・高品位ペレット製造に適した鉱石品位
・北米最大のペレット生産能力



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

U. S. Steelの飛躍的利益成長のための計画

2025.6 **Closing**

100日計画の企画立案
8つの柱・66課題の検討推進
当初　技術者等派遣　約50名

2025.11 **U. S. Steel 中長期計画公表**

2026～2030年度
当社の最先端の技術と経営リソースを投入
シナジー発揮最大化と戦略的投資の早期成案化・実行

足元100名規模に派遣者増員（短期派遣者含む）

8つの柱・66課題

- 操業技術
- 設備技術
- 商品技術
- 脱炭素技術

① 生産設備新鋭化
・競争力維持向上
② コスト競争力強化
③ 既存設備の生産性向上
・品質対応力強化
④ 戦略商品メニュー
・高級鋼供給能力拡大
⑤ 薄板とミニミルの連携
⑥ 当社との協業シナジー
の最大発揮
⑦ 新製鉄所建設
・事業領域拡大
⑧ カーボンニュートラル対応

U. S. Steel中長期計画 （2025年11月4日公表）

操業シナジー

当社の先進的な技術・ノウハウ導入
260項目の改善イニシアティブ

- 品質改善
- 操業改善（生産性・コスト）
- 燃料費・歩留・エネルギー効率改善
- 原料関連

⇒ コスト競争力・製造実力向上等

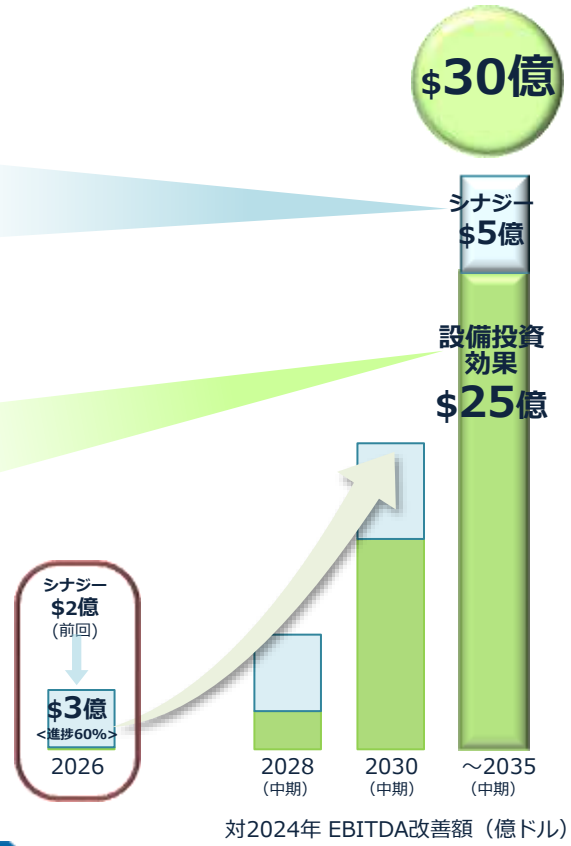
設備投資

大規模な成長投資を計画
2028年末までに
米国内で110億ドル

戦略プロジェクトを中心に投資効果を発揮

- スループット向上
- エネルギー効率改善
- 生産性向上
- 品質向上

⇒ 品種高度化・供給製品メニュー拡大・供給能力拡大



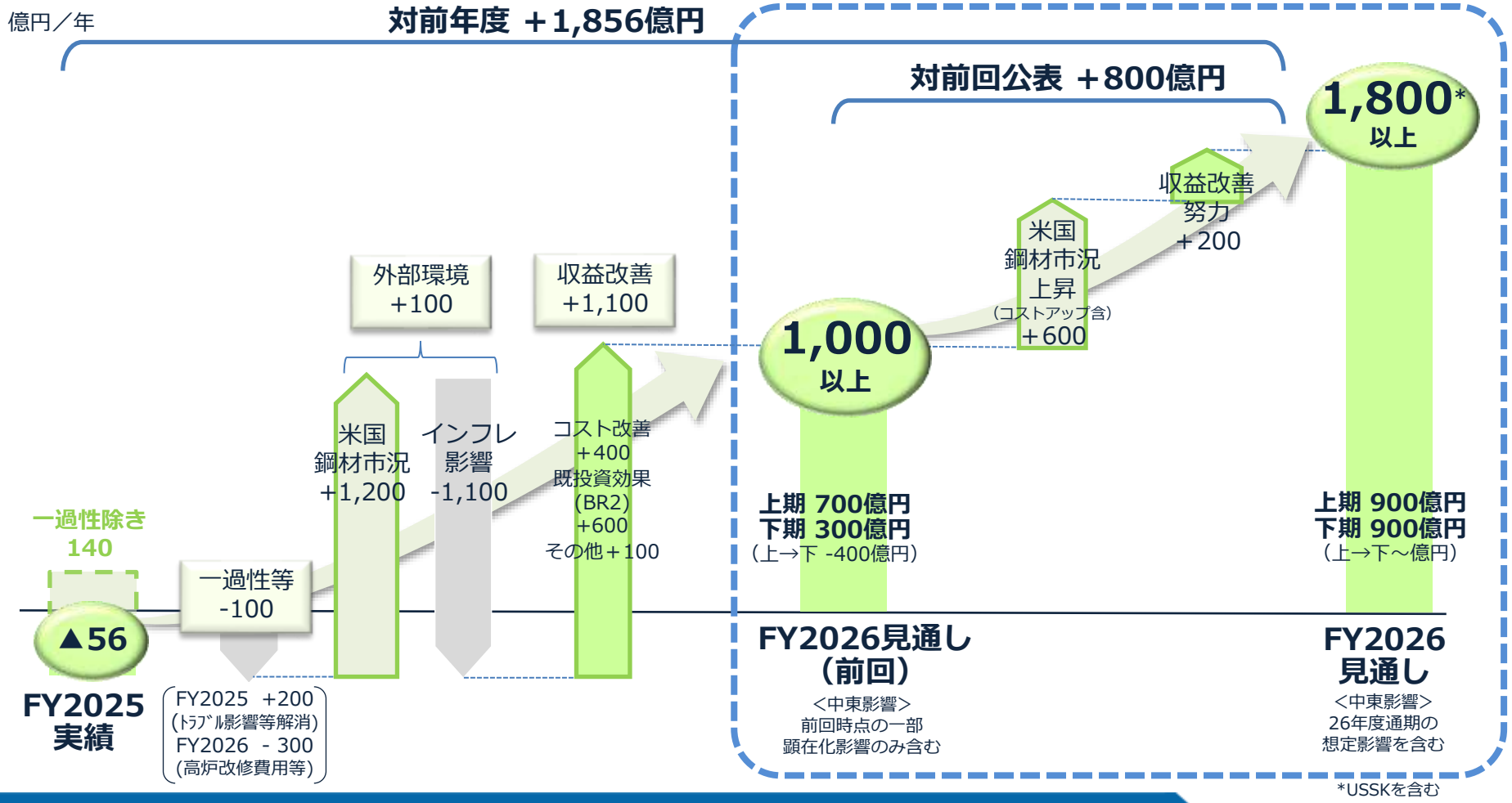
NIPPON STEEL

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

U. S. Steelの足元の実力利益水準

◆2026年度実力利益見通しは、前年を大きく上回る1,800億円以上を見込む

◆特に前回公表（1,000億円以上）との対比では、米国鋼材市況上昇下での確実な需要捕捉+600億円に加え、シナジー進展や高炉再稼働効果のフル発揮などの収益改善努力+200億円により大幅上方修正

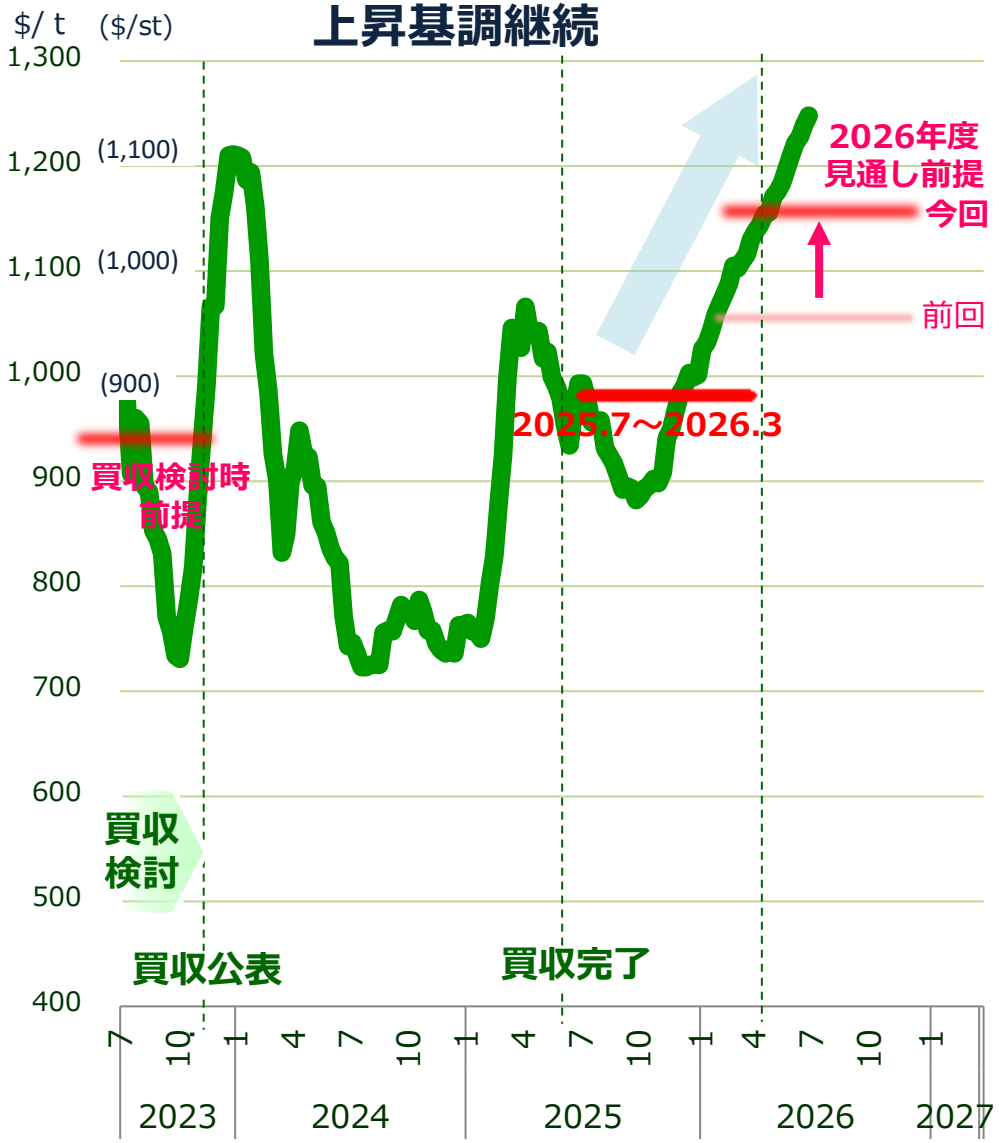


※2025年度より連結開始：2025.7月～2026.3月の9ヶ月
2026年度より4月～翌年3月の12ヶ月連結

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

（参考）米国の鉄鋼事業環境

【鋼材市況】ホットコイル市況は上昇基調継続



【生産動向】世界粗鋼生産量が減少する中米国粗鋼生産量は底堅く推移

2025年：81.9百万ｔ＞日本80.7百万ｔ
44年ぶりに日本を逆転



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.